

議長（中田文夫君） 8番 堀田一俊君。

8番（堀田一俊君） 私は、村議会議員歳費の増額について質問します。

この4月村議選に当たり、私は後継者を選出するべく心あたりを当たってみました、承諾を得られず、若い人は職場の理解に問題があったり、出馬をお願いすると、「現在の議員歳費では勤めている若い人たちにはお願いできない」との反応が返ってきました。

今日我が村は、有権者が2,094人、新しい村民が増えており、国重では有権者390人のうち昔からの村民は1割もいません。従来の慣行にとらわれない新しい発想、新しい感覚が村政に反映されることが当然であると思っておりますので、歳費が出馬決断の障害になっているとすれば残念なことだと思います。歳費の増額が若手出馬のために必要と思いますが、村長の見解を求めます。

以上です。

議長（中田文夫君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 8番堀田一俊議員さんの議員歳費の増額についてのご質問にお答えいたします。

平成18年4月1日現在、平成の大合併が進みまして、全国の村の数は197になりました。各自治体での議員報酬額は、人口2,000人以上5,000人未満の自治体が77ございますが、本村はその中でも低いほうから15番目の位置にあります。

目下議員の皆さんには、政務調査費等の支給もなく、少ない費用で議会活動に務めておいでになります。心から感謝申し上げる次第でございます。

私は、現下大変厳しい財政状況の中でも、今後のむらづくりは、住民と行政との協働が何よりも大切になっていくものと推察しているところであります。すべての人が役割を持ち、自身の持てる能力を発揮して自己実現できるむらづくり、つまり住民一人一人が地域づくりに寄与することが最も大切なことと考えておる次第であります。

その手法といたしまして、まず住民そして職員が地域活動へ積極的に参加することが必要だと考えまして、舟橋村クリーン月間や職員による庁舎敷地内の清掃を実施するというのを今年度考えている次第でございます。

このような中で、行政運営には、何よりも住民の方々の理解が必要であります。議員報酬額等につきましても、議会活動や役割を十分考慮いたしまして、今後前向きに検討してまいる所存でございます。何とぞご理解、ご協力をお願い申し上げまして、答弁とさせていただきます。